Local to Global: 大衆音楽の在り方

地域共創学科

川口 雅也

文学　大衆文化　多文化共生

- 「音楽の島」沖縄の音楽家、芸能活動60年を越える喜納啓子の，沖縄内外に留まらない世界各地での音楽活動を取材しながら，大衆文化研究の一環として，大衆音楽の在るべき姿の探求を続けている。
- 浜松市が「音楽の街」として発展していくためにも「音楽の島」から学ぶことは多いと考えている。

・「見えざる聴き手」ーーライブが配信されるとき――」（日本比較文化学会例会における口頭発表2022年3月27日オンライン）：無観客ライブでの「見えざる聴き手」の存在から見えてくる大衆音楽の在るべき姿を，喜納啓子へのインタビューに基づき考察した。

連絡先：E-mail　kikaku@hamagaku.ac.jp（浜松学院大学 地域共創センター）